シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と表現Ⅰ		
講義コード	U101		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17U	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

日本及び海外のファッショントレンドをデザイン、色彩、素材などのコンテンツで分析し、自分らしくワードローブにコーディネートすることによって、服飾による自己表現力を高める。

到達目標

自分らしいスタイルを追求し、ＴＰＯを踏まえた服飾コーディネートができる。

方法

視聴覚教材を活用することにより最新のファッショントレンドを学習する。自分の目指す職業やＴＰＯを想定したコーディネートをコラージュやデザイン画で表現する。

評価方法

レポート　２０％
中間・期末試験　４０％
プレゼンテーション　２０％
授業態度　２０％

留意事項

授業で学習したプリントや資料は最後にノートとして提出してもらいますので、必ずファイリングをしてください。

＜授業に準備する物＞
１９９a配色カード（日本色研事業株式会社）、Ａ４ファイル（ノート式）

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	前期授業内容とスケジュールの説明	【事後】授業に必要なものを準備する。
第2回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第3回	表現力を高めるエクササイズ①	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第4回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第5回	表現力を高めるエクササイズ②	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第6回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【関連】ファショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第7回	表現力を高めるエクササイズ③	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第8回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【関連】ファショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第9回	表現力を高めるエクササイズ④	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第10回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅰ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第11回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅱ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第12回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅲ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第13回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅳ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第14回	前期プレゼンテーションと総評	【事前】作製したコーディネートのコラージュについて発表の練習をする。
第15回	前期まとめ	【事前】学習したプリントがすべてそろっているか確認しファイリングする。
第16回	後記授業内容とスケジュールの説明	【事後】授業に必要なものを準備する。
第17回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第18回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ①	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第19回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第20回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ②	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第21回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【事前】ファショントレンドのデザイン、素材の特徴について市場をリサーチする。
第22回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ③	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第23回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【事前】ファショントレンドのデザイン、素材の特徴について市場をリサーチする。
第24回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ④	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第25回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅰ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第26回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅱ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第27回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅲ	【関連】ファショントレンドの要素を自分自身のワードローブに生かしコーディネートする。
第28回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅳ	【関連】ファショントレンドの要素を自分自身のワードローブに生かしコーディネートする。
第29回	後期プレゼンテーションと総評	【事前】作製したコーディネートのコラージュについて発表の練習をする。
第30回	後期まとめ	【事前】学習したプリントがすべてそろっているか確認しファイリングする。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と芸術Ⅱ		
講義コード	U102		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17U	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　美智子		

意義と目的

デンマーク、ロイヤルコペンハーゲン窯の伝統的な技法を学び伝え、個々の学生の個性を引き出す。【黒田】ヨーロピアンポーセリアンアートの伝統的技法を学び、日本人の感性で器のデザインの本質を理解し、食文化の深い奥行に触れ、白磁に表現する手段を学ぶ。【山田】

到達目標

のびのびした筆使いが出来、心に残る大切な作品を完成させる。【黒田】日本の伝統行事食、食文化、器について理解できる作品を創作できる。【山田】

方法

見本となる作品を提示し、デモストレーションを通して実技指導を行う。【黒田】【山田】

評価方法

制作作品　70%
授業態度　30%

留意事項

実技中心の授業のため、欠席のないよう体調管理をして下さい。【黒田】
白磁は必ず購入してください。エプロン、はさみ、カッターを用意してください。【山田】

教科書

参考文献

石井逸郎著「ポーセリンペインティングⅠ」「ポーセリンペインティングⅡ」再版されない為教室に常備しています。【黒田】

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ヨーロピアン上絵付け 磁器用絵の具の説明、ポジションの習得【黒田】	【事後】白い紙に鉛筆で正しいポジションでストロークの練習をする。
第2回	ヨーロピアン上絵付け 右廻り、左廻りの筆使い、ストロークの習得【黒田】	【事後】お皿に左右のストロークの練習をする。
第3回	ヨーロピアン上絵付け 小花Ⅰ、Ⅱの描き方、デモストレーション【黒田】	【事前】お花屋さんや花壇、道端の草花を観察する。
第4回	ヨーロピアン上絵付け 小花Ⅰ、Ⅱを白磁に描く【黒田】	【関連】焼成
第5回	ヨーロピアン上絵付け ガラスプレートにひまわりをトレースする【黒田】	【関連】植物図鑑でひまわりの花を調べる。 【事後】焼成
第6回	ヨーロピアン上絵付け 白磁にバラをトレースする【黒田】	【事前】バラの花を観察する。オールドローズ等。 【関連】焼成
第7回	ヨーロピアン上絵付け ガラスプレートにひまわりを絵付けする【黒田】	【事後】焼成
第8回	ヨーロピアン上絵付け ガラスプレートにひまわりと茎と葉を絵付けする【黒田】	【事後】焼成
第9回	ヨーロピアン上絵付け ガラスプレートのひまわりの仕上げ【黒田】	【事後】焼成
第10回	ヨーロピアン上絵付け バラのお皿に彩色する【黒田】	【事前】バラの色を観察する。 【焼成】焼成
第11回	ヨーロピアン上絵付け バラの彩色と小花をを描く【黒田】	【事前】ばらの花と小花の配置を考えておく。 【事後】焼成
第12回	ヨーロピアン上絵付け バラの彩色と小花をを描く【黒田】	【事後】焼成
第13回	ヨーロピアン上絵付け カップ＆ソーサーにバラのブーケをトレース【黒田】	【事前】バラを中心としたブーケの構成を考える。
第14回	ヨーロピアン上絵付け カップにバラの彩色をする【黒田】	【事後】焼成
第15回	ヨーロピアン上絵付け カップにバラのブーケ２回目の彩色【黒田】	【事後】焼成
第16回	ヨーロピアン上絵付け カップにバラのブーケ２回目の彩色【黒田】	【事前】バラの花の表情を考え、イメージする。
第17回	ヨーロピアン上絵付け ソーサーに小花をデザインし、トレースする【黒田】	【事前】カップのブーケに合うソーサーのデザインを考える。
第18回	ヨーロピアン上絵付け ソーサーの小花に彩色する【黒田】	【事後】焼成
第19回	ヨーロピアン上絵付け カップ＆ソーサー全体のバランスを見て彩色する【黒田】	【事後】焼成
第20回	ヨーロピアン上絵付け 総評【黒田】	【事後】制作過程を振り返り、改善点があれば今後のために生かす。
第21回	ポーセリアンアート 日本の伝統行事食、食文化、器について	事前　伝統行事食の器について調べる 事後　器のデザインを考える 関連　ポーセラーツの作品を閲覧する
第22回	ポーセリアンアート 作品制作①　Ter　For　One（転写紙の作り方）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　食器売り場を見学する
第23回	ポーセリアンアート 作品制作①　Ter　For　One（金を使用する）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　食器売り場を見学する
第24回	ポーセリアンアート 作品制作②　取り皿（転写紙の分解、構成）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　食器売り場を見学する
第25回	ポーセリアンアート 作品制作②　取り皿（転写紙、柄紙、単色紙の作り方）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　食器売り場を見学する
第26回	ポーセリアンアート 作品制作③　お重（重ね貼りの習得）	**事前　お重について由来を調べる** **事後　器のデザインを考える** **関連　食器売り場を見学する**
第27回	ポーセリアンアート 作品制作③　お重（柄同士の重ね貼り）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　食器売り場を見学する
第28回	ポーセリアンアート 作品制作③　お重（応用）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　食器売り場を見学する
第29回	ポーセリアンアート 作品制作③　お重（応用）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　器のデザインを考える 関連　作品集を閲覧する
第30回	ポーセリアンアート 作品制作③　お重（応用）	事前　デザインを考え、技法を調べる 事後　おせち料理を作り、写真を撮る 関連　作品の展示をする

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	健康美学Ⅰ		
講義コード	U103		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

基本の正しい姿勢・歩き方を学び、悪い癖を正し足、腰、肩に負担をかけないコツを覚える。【佐口】全身の筋肉を使って歩くメリットや心身への影響と効果を理解する【今井】

到達目標

鏡のないところでも美しい姿勢を保持し、様々な靴で美しい歩き方が出来る。【佐口】日常いつでもどこでも美しい姿勢と歩き方を意識して、エレガントな立居振舞ができる。【今井】

方法

テーマに合わせてウォーキングのレッスンを行う。

評価方法

実技テスト50%、実技小テスト20%、ノート提出10%、授業態度20%【佐口】実技テスト60% 、授業態度40%【今井】

留意事項

最初の歩き方からどれくらい上達したかが評価となります。美しくなろうという意識を高く持ってください。【佐口】
姿勢と歩き方が変わることが、イメージアップ、体型変化、健康に繋がることを理解し、意欲的に取り組んでください。美しくなることに興味を持ってください。きっと変わります。一緒に取り組んでいきましょう。【今井】

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	姿勢のチェック、正しい立ち方、動画収録	事前：全身を鏡に写し、自身の癖を見つける
第2回	ｳｫｰｷﾝｸﾞ動画確認、ストレッチ、基本ｳｫｰｷﾝｸﾞ	事後：基本の立ち方とｳｫｰｷﾝｸﾞの復習
第3回	悪い姿勢との見え方の違い・基本ｳｫｰｷﾝｸﾞ	事後：悪い姿勢・正しい姿勢の違いの復習 自身の癖を再確認
第4回	美しく歩く　～　正しい足の運びと手の振り方	事後：復習と歩幅の広げ方、手の引き方を 意識的に変える
第5回	美しく歩く～パンプスを履いて～	事後：パンプスを履いて歩く復習
第6回	美しい階段の上り下り	事後：階段の上り下りの復習
第7回	鏡のない所でｳｫｰｷﾝｸﾞ動画収録　1ランク上の洋服の着こなし	事後：毎日の洋服の脱ぎ着で確認
第8回	動画確認後、ｳｫｰｷﾝｸﾞ	事後：　復習
第9回	美しい姿勢と歩き方の基本を覚える、ビフォアーのビデオ撮り	事後：毎日姿勢のチェックをする癖をつける、美しく立つ
第10回	足と脚の使い方をマスターする、エクササイズで体軸をつくる、柔軟性をつくる、階段の昇り降り	事後：自分の身体の特徴と癖を把握して、日常生活でもできるように。
第11回	骨盤を立てる、デコルテを開く、腕を４５度後ろへ振る、バッグを美しく持つ	事後：日々の中で使い方を意識する
第12回	足、脚、手のエレガントな使い方を身に着ける、ひねりを意識する、上体を引き上げる、ターン＆ポージング	事後：身体を引き上げて歩き、美しいと見られるように
第13回	パンプスで歩くときの知識を身に着け、ポイント、効果を理解する、ヒールの選び方と知識、椅子の美しい座り方	事後：パンプスで歩いても揺れない軸のある身体
第14回	パンプスで美しくエレガントに歩く	事後：自分を表現してエレガントに歩く
第15回	実技テスト（姿勢、歩き方、立居振舞）＆アフタービデオ	事後：美しく歩ける、美しい立居振舞ができる
第16回	撮影会と創作ウォーキングでエレガントに楽しく歩く、変化した自分に拍手	事後：美しく見せることに興味が持てるようになる、自分の見せ方を考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	国際コミュニケーション論Ⅰ		
講義コード	U104		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	David Wallace		

意義と目的

Aimed at beginners who want to achieve a modest level of functionality at a relaxed pace.

到達目標

Review basics of sentence structure and grammar.Expand vocabulary base.

方法

Lecture with questions/answer drills and pair practice.

評価方法

Class work 40% Homework 40% Test 30%

留意事項

Please bring a blank notebook, Dictionary recommended.

教科書

書名1 Breakthrough Plus Intro 著書名 Miles Craven 出版社 Macmillan 書名2 著書名 出版社

参考文献

0

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Greetings Verb be - am/are	BP intro Unit One Greetings and introductions
第2回	Greetings Countries and nationalities	BP intro Unit One A short greeting
第3回	Personal information Affirmative and negative questions	BP intro Unit Two Exchanging personal information
第4回	Personal information Days and months	BP intro Unit Two Personal profiles
第5回	Friends and family Verb be is	BP intro Unit Three Talking about your family
第6回	Friends and family Wh - questions	BP2 Unit Three Family members
第7回	Review and consolidation quiz	BP intro Review 1 Unit 1-3
第8回	Possessions Singular and plural nouns	BP intro Unit Four Identifying personal possessions
第9回	Possessions This / These possessive	BP intro Unit Four Describing your favorite things
第10回	Interests Like + noun/verb	BP intro Unit Five Talking about things you like
第11回	Interests Everyday activities	BP2 Unit Five Talking about interests
第12回	Lifestyles Simple present	BP intro Unit Six Talking about your lifestyle
第13回	Lifestyles I/You/We/They	BP intro Unit Six Common verbs and adjectives
第14回	Review and consolidation	BP intro Review 2 Unit 4-6
第15回	Mid Term Exam	Homework deadline
第16回	Home There is / There are	BP intro Unit Seven Talking about where you live
第17回	Home Questions and short answers	BP intro Unit Seven Describing your home
第18回	Daily routines Simple present he/she	BP intro Unit Eight Talking about daily routines
第19回	Daily routines Yes/No Questions	BP inro Unit Eight Adverbs of frequency
第20回	Leisure Simple present Wh questions	BP intro Unit Nine Talking about things you do In your free time
第21回	Leisure Free time activities / hobbies	BP intro Unit Nine Invitations
第22回	Review and consolidation quiz	BP2 Review 3 Units 7-9
第23回	Sports Present continuous	BP intro Unit Ten Asking questions about different sports
第24回	Sports Simple present vs Present continuous	BP intro Unit Ten Talking about sports
第25回	Food Some/Any	BP intro Unit Eleven Making comparisons, expressing preference
第26回	Food Countable and uncountable nouns	BP intro Unit Eleven more, less, most, least, as as
第27回	Vacations Simple Present and present continuous	BP intro Unit Twelve Talking about vacation activities
第28回	Vacations Vacation activities/weather	BP intro Unit Twelve Telling a friend about your vacation
第29回	Review and consolidation	BP2 Review 4 Units 10-12
第30回	Final Exam	Units 1-12

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	世界の料理		
講義コード	U105		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17U	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

世界の特徴ある食文化について学び、代表的な料理と調理法、技術を習得する。それらの料理を心からサービスできるおもてなしを身に付ける。

到達目標

世界の特色ある料理と調理方法、技術を習得し、その国の風土、食文化や食材の特徴を説明できる。おもてなしの心でサービスできる。

方法

デモストレーションは注意深く観察し、実習に積極的に参加し試食して理解を深める。

評価方法

レポート課題　50%
授業態度　50%

留意事項

完成した料理の写真を毎回ノートに貼ってください。ノートは授業の最後に提出してもらいます

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	中国料理 基本と実践①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第2回	中国料理 基本と実践②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第3回	フランス料理 フランス料理の特色と基本を学ぶ	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第4回	フランス料理 オードブル、スープ、魚料理、肉料理、デザート	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第5回	製パン パン、焼き菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第6回	製パン パン、焼き菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第7回	スペイン料理 スペインの風土、歴史を含めて食の文化の特徴を紹介後、レシピに沿って調理し説明する	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第8回	スペイン料理 実習に移り、各班で分担を決め調理にかかる レシピ、時間を見ながら調理し試食する	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第9回	ブラジル料理 基本と実践①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第10回	ブラジル料理 基本と実践②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第11回	イタリア料理 基本と実践①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第12回	イタリア料理 基本と実践②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第13回	イタリア料理 基本と実践③	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第14回	イタリア料理 基本と実践④	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第15回	ワイン 酒類はいつどこで作られるようになったか、その分類	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第16回	ワイン テイスティングを実際に試してみる	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第17回	ワイン ワインについて基礎知識を得る	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第18回	ワイン ワインの表現とマリアージュ、購入する際の選び方	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第19回	中国料理　アジアンチャイニーズ	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第20回	中国料理　アジアンチャイニーズ	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第21回	中国料理　薬膳料理	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第22回	中国料理　薬膳料理	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第23回	洋菓子　クリスマスのお菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　クリスマスのお菓子について調べましょう
第24回	洋菓子　クリスマスのお菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　クリスマスのお菓子について調べましょう
第25回	日本料理　おせち料理①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第26回	日本料理　おせち料理②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第27回	日本料理　おせち料理③	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第28回	日本料理　おせち料理④	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第29回	洋菓子　チョコレート菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　チョコレートの種類について調べましょう
第30回	洋菓子　チョコレート菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　チョコレートの種類について調べましょう

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	世界の茶研究Ｉ		
講義コード	U106		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

【中国茶】茶の源、基本から歴史、多種多様の茶葉の種類、淹れ方、文化を学ぶ。【紅茶】生活を豊かにする健康飲料「紅茶」を通じ、日本的もてなしの心と、英国の伝統文化を理解する。

到達目標

【中国茶】日常の茶を理解し、淹れ方、楽しみ方、おもてなし方法、マナーを習得する。【紅茶】紅茶を美味しく上手にいれるコツを身に付ける。現代的なティータイムを演出することができる。

方法

教科書を参照しながらの講義と、実際に紅茶をいれる実技。毎回、数種の紅茶とお茶請けの試飲試食。

評価方法

授業態度60%
授業中課題　30%
プレゼンテーション　10%

留意事項

実際に紅茶を味わうことが大切と考え、出席を最重視します。毎回エプロン持参のこと。

教科書

「紅茶を楽しむ」熊崎俊太郎　大泉書店

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	【紅茶】イントロダクション～紅茶の魅力（講義）	【事後】教科書の指摘部分を熟読。関連学習は講義中提示。
第2回	【紅茶】世界の紅茶を実際に味わう（講義・試飲）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第3回	【紅茶】「基本のいれ方」を身につける（実技・基本）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第4回	【紅茶】「上手ないれ方」を身につける（実技・応用）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第5回	【紅茶】カフェの紅茶メニューから学ぶ（実技・応用）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第6回	【紅茶】英国のアフタヌーンティー（実習）	【事前】教科書の予告部分を熟読。後日、ホームパーティー主催を。
第7回	【紅茶】おさらいのティーパーティー「七夕」（実習）	【事前】教科書の予告部分を熟読。後日、ホームパーティー主催を。
第8回	【紅茶】”　華麗なる紅茶の世界２０１７　”	【事後】公開講座のまとめ
第9回	【中国茶】茶文化の基礎知識。茶の起源と茶葉の基礎	【事後】日常の茶を見直し、生活の中での茶を考えます
第10回	【中国茶】中国緑茶　日本茶　韓国茶の　製法の異なり、茶器の異なり、淹れかたの異なりを学びます	【関連】中国からアジアには何故緑茶が根付いたのか
第11回	【中国茶】青茶（烏龍茶）　産地による加工製造の違い　茶葉、茶器の違い	【事後】実習体験を復習
第12回	【中国茶】中国紅茶　紅茶の歴史と種類　加工工程と茶とともに世界に広まった磁器	【関連】中国紅茶品茶
第13回	【中国茶】中国で人気　白茶　産地の限られた貴重なお茶を体験いたします	【関連】実習　白茶を温度を管理して入れる
第14回	【中国茶】黒茶（プーアール茶）青プーアール茶と熟プーアール茶の製造工程の違い　年代別に品茶（ティスティング）	【関連】黒茶の保存方法の確認
第15回	【中国茶】花茶　製造工程と種類　花茶の特徴とブレンド方法　　生薬と漢方の異なり・・・花茶の必要性	【関連】実習　オリジナルブレンドTeaを作ります

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	特殊演習Ｉ		
講義コード	U107		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	集中講義	代表曜日	集中講義
学年・クラス	17U	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

エレガンスを磨く３つのコンセプトに基づき、各界の著名な先生方の講義を受けることにより、日本文化の真髄を理解し、国際人としての幅広い教養を身につける。

到達目標

１．日本の伝統文化の心を理解できる。　２．自分らしさを知的に魅力的に表現する知識と技術を身につける。　３．ライフスタイルを明るく彩るおもてなしの心を表現できる。

方法

聴覚教材を使用し芸術鑑賞のための準備学習をし、その後、歌舞伎、オペラ、その他の芸術を実際に鑑賞する。

評価方法

レポート課題　60%
授業態度40%

留意事項

オペラの魅力
オペラは素敵な芝居です。楽しむためには基本的な知識を身に付けましょう。
狂言鑑賞入門
できるだけ実際の舞台が観られるように能楽堂での公演、狂言などの情報を紹介します。

教科書

参考文献

狂言ハンドブック　三省堂2008
狂言鑑賞二百一番　淡交社2005

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	狂言鑑賞入門（能楽としての狂言）	能と狂言の比較を通じて狂言の性格、その主張をとらえ能楽としての狂言を位置づける
第2回	狂言鑑賞入門（狂言を楽しむ）	狂言の映像、実演などを織り交ぜながら、狂言の演技楽しさを伝える
第3回	狂言鑑賞入門「世阿弥もびっくり、今の世の隆盛」	能、狂言の現状を紹介し、占典の持つ意味を考える
第4回	能面と装束	歌いの稽古ををする。
第5回	能面と装束	動きの稽古をする
第6回	能面と装束	装束を実際に身につけた感想をまとめる。
第7回	オペラ	DVD鑑賞する
第8回	オペラ	DVD鑑賞する
第9回	オペラ	DVD鑑賞する
第10回	歌舞伎鑑賞入門	御園座歌舞伎の演目について調べる
第11回	歌舞伎鑑賞入門	御園座歌舞伎の演目について調べる
第12回	ハープ鑑賞入門	ハープの歴史と奏法について調べる
第13回	ハープ鑑賞入門	ハープの歴史と奏法について調べる
第14回	花あしらい	日本人の元旦にこめる気持ちを考え、花材の意味を理解する
第15回	花あしらい	日本人の元旦にこめる気持ちを考え、花材の意味を理解する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	書道概論及び実習Ｉ		
講義コード	U201		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　一惠		

意義と目的

実用の文字が正しく美しく書ける事。

到達目標

鉛筆、毛筆の正しい持ち方及び、文字が書き順通り書けるようになる。

方法

上記の繰り返し（実用文字が自由に美しく書けるまで練習）

評価方法

出欠の有無　50%　最終時に決められた作品の提出　50%

留意事項

授業時間に遅刻・欠席しないこと。（欠席が多いと、筆の使い方、文字の書き順が理解出来なくなる為）

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	筆の正しい持ち方、墨の正しい摺り方	筆・視・墨　持参のこと
第2回	毛筆で墨を筆に含ませ線を書く	半紙持参（本体は授業ごとに配布）
第3回	毛筆でひらがな等文字を半紙に書く	〃
第4回	毛筆　２字、３字のひらがな続け書き練習	〃
第5回	ひらがば及び書体がなの練習（書体がなの説明）	〃
第6回	ひらがな書体・仮名の練習（２字・３字続け書き）	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	実用文字（のし袋等の表書き）の練習（毛筆）	〃
第10回	俳句を毛筆で書く（半紙）	〃
第11回	〃	〃
第12回	和歌を半紙に書く	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	俳句及び和歌の半紙作品を清書提出	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	茶道概論及び実習Ｉ		
講義コード	U202		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	神谷　昇司		

意義と目的

茶の湯文化を歴史、茶道具、茶室、露地茶事等に渡って学ぶことで生活文化としての茶道の意義を体得し、実習を通じて事後を修練し思いやりのある心を養う。

到達目標

裏千家許状　初級　薄茶（炉）点前を修得する。

方法

毎回の基礎（ことば、四則七則、制不道歌）読み合わせ、道、学、実、実習を通じて学ぶ。

評価方法

授業態度（50%）、レポート課題(20%)、小テスト(20%)、10分間基礎(10%)

留意事項

集中力、協調性を高める。

教科書

書名1 裏千家茶道 著書名　千　宗室　出版社　裏千家茶道教育センター 書名2　裏千家茶道教科　１、２、３　著書名　千　宗室　出版社　淡交社

参考文献

茶道文化検定テキスト　4級、3級

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ことば　四規七則　利休道歌について	茶道教本　プリント配布
第2回	割稽古（1）　裏千家、茶道のこころについて	ことば　四規七則　　暗唱　茶道具の点検
第3回	割稽古（２）　茶の歴史（古典、左方録）	席入の修得　道具の扱い方
第4回	割稽古（３）　小テスト　〃　（茶の湯－会集）	帛紗さばきの修得　裏千家茶道の歴史
第5回	略盆点（１）　〃　（茶の本）	利休道歌の暗唱　茶道具の知識
第6回	略盆点（２）　〃　（茶の美学）	略盆復習
第7回	略盆点（３）　〃　（茶の逸話）	楽本　イメージトレーニング
第8回	風炉について　水指、不柄杓の扱い　（茶の伝来、中国）	〃　　〃
第9回	風炉、薄茶点前（１）　茶の発展（日本）	風炉点前手順について
第10回	風炉、薄茶点前（２）　茶道の成立	柄杓の扱い
第11回	風炉、薄茶点前（３）　裏千家許状について　わび茶の完成	風炉点前　イメージトレーニング
第12回	風炉、薄茶点前（４）　利休七括について	〃　　〃
第13回	風炉、薄茶点前（５）　大名茶について　小テスト	〃　　〃
第14回	まとめ学習　（亭主、客、水産） 千家の成立について	裏千家　歴代　家之を覚える
第15回	まとめ学習、茶会形式。 千利休　裏千家家之について	レポート　点前総合の確立

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	薫風流煎茶道Ⅰ		
講義コード	U203		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	加藤　靖子		

意義と目的

煎茶道の手前にはお茶を美味しく淹れるための順序と手間が組み込まれています。
季節感を重んじる日本の情緒を感じながら丁寧な所作でお茶を淹れることを学ぶ。

到達目標

煎茶道具の名称や役割を覚え、和室にふさわしい所作を身に付けながら基本手前をこなせるようにする。
美味しいお茶を淹れるための技術と知識を深める。

方法

準備、ご挨拶から始まり、手前の作法、客側の作法、後片付けを繰り返すことで所作と道具の扱いに慣れる。
テキスト、プリントの併用で煎茶道と日本茶への理解を深める。

評価方法

レポート課題　50%
その他提出物　30%
授業態度　20%

留意事項

実習が中心の授業になります。
わからないことはその場で挙手し質問してください。
忘れないうちにノートに書いておきましょう。

教科書

書名1 煎茶道のすすめ 著書名　全日本煎茶道連盟　編　出版社
書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	畳の上の歩き方、所作、お辞儀の真・行・草	事後：道具の名前を覚える
第2回	授業は水屋に始まり、水屋に終わる	事後：テキストとプリントを熟読する
第3回	急須で煎茶を淹れましょう（一煎出し）	関連：テキストとプリントを熟読する
第4回	煎茶の味比べをしましょう（二煎出し）	関連：テキストとプリントを熟読する
第5回	新茶の特徴と淹れ方	関連：テキストとプリントを熟読する
第6回	新茶を蓋付茶碗で飲みましょう	関連：テキストとプリントを熟読する
第7回	玉露は日本茶の最高峰	関連：テキストとプリントを熟読する
第8回	玉露を碗茶茶碗で飲みましょう	関連：テキストとプリントを熟読する
第9回	丸盆の手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第10回	茶びつの手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第11回	玉露で水と氷で淹れましょう	関連：レポートの作成
第12回	夏の玉露の味わい方	関連：レポートの作成
第13回	夏のほうじ茶の淹れ方	関連：プリントを熟読する
第14回	夏の碗茶手前	関連：プリントを熟読する
第15回	好きなお茶を淹れましょう	事前：質問事項を書きだす

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	香道の心得Ⅰ		
講義コード	U204		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	石川　陽子		

意義と目的

人間形成を図る情操教育の一分野である香道によって心を癒し日本的な美を見出す

到達目標

見えないものに対する美意識に触れ感性を高めていく。香席での礼儀・作法を身につける。

方法

実技・聞香

評価方法

授業態度　70%　　レポート30%

留意事項

香水など香りの強いものはつけてこないでください。授業中は指輪・ブレスレット等は外してください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	香道の歴史・六国五味・子の日香　聞香	
第2回	梅煙香　聞香	
第3回	桃の月香　聞香	
第4回	山桜香　聞香	
第5回	卯の花香　聞香	
第6回	八橋香　聞香	
第7回	雲晴間香　聞香	
第8回	山路香　聞香	
第9回	鵜飼香　聞香	
第10回	星合香　聞香	
第11回	白菊香　聞香	
第12回	紅葉香　聞香	
第13回	冬夜香　聞香	
第14回	十ちゅう香　聞香	
第15回	源氏香　聞香	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と芸術Ⅰ		
講義コード	U205		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	関　康博		

意義と目的

植物・花を通じての自己表現やプレゼンテーションなど色んな角度での生活にとり入れ方を考える。

到達目標

生命ある花をいつくしみ、個々の花の個性を見つけ表現・提案ができる。

方法

生花・ドライ・プリザードフラワーと色々な生花に関するアプローチで表現できるように指導する。

評価方法

レポート課題　６０点　授業態度　３０点　プレゼンテーション　１０点

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	生花の花束（春）	花のスパイラル束ね方
第2回	生花のアレンジメント	オアシスや花の挿し方
第3回	フローラルアクセサリー作り	花を身に付ける時に考える事
第4回	盆栽・苔玉つくり	土の配合・育てるという事
第5回	プリザードフラワーのアレンジ	和イヤリングやテーピングなどの技術
第6回	生花の夏の花束	季節の花を考える
第7回	植物素材のコラージュ作り	ドライ素材を最後まで花を楽しむ
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と美容Ⅰ		
講義コード	U206		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	岩田　美恵		

意義と目的

基本的なヘア・メイクの知識と技術を学び、ご自身に合ったテクニックを身に付ける。

到達目標

就活やパーティーなど、T.P.O.に応じた場面で最も輝けるようにする。

方法

ステップごとに細かく学び、ご自身の顔型、カラーなど説明しながら実技を行う。

評価方法

授業態度　40%
レポート課題　20%
テーマごとの作品　40%

留意事項

毎授業、ご自身のヘア、顔による実技授業の為、講師の指示に従ってください。
また、アレルギー等の場合は事前に相談ください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ヘアメイクとは	関連 ホルモンバランスとの関係
第2回	スキンケア①	関連 肌の構造
第3回	スキンケア②	関連 季節のお手入れ
第4回	フェイスストレッチ	関連 表情筋のしくみを学ぶ
第5回	ベースメイク	関連 ハイライトとショーディング
第6回	アイブロー	事後 アイブローセット
第7回	アイメイク	関連 色の関係と学ぶ
第8回	チーク、リップ	関連 顔型別のバランス
第9回	就活ヘアメイク	事後 高感度メイク、ポニーテール
第10回	ヘア①	事後 表　編み込み
第11回	ヘア②	事後 裏　編み込み
第12回	ファッション　ヘアメイク	事前 バリコレを見て
第13回	ゆかた着付	関連 着物ヘアを学ぶ
第14回	ゆかた　ヘアメイク	関連 撮影
第15回	ゆかた　ヘアメイク	関連 撮影

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	精神美学Ⅰ		
講義コード	U207		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	荒崎　香央里		

意義と目的

アロマテラピーの基礎理論と実践の学習を通して、日々のストレスケアと心身バランスの調整方法を身につけ、健康で美しい心身と情緒豊かな感性を養います。

到達目標

①人間と植物の関わりを考えることができる。　②日々変化する自分の心身コンディションを客観的に観察することができる。
③植物の香りに親しみ、日常生活に取り入れることができる。

方法

実践学習を豊富に用意し、精油の有用性や心身の変化を感じていきます。教科書を使用した座学では理論的な理解が深まるようにＴ寧に分かりやすく解説します。

評価方法

授業態度（40%）、小テスト（30%）、制作作品（15%）、レポート課題（15%）

留意事項

授業内容の理解を深めるために、自分自身の心と体の状態をよく観察して参加してください。

教科書

書名1 アロマコーディネーター講座レッスンテキスト 著書名　日本アロマコーディネーター協会　出版社　日本アロマコーディネーター協会 書名2　精油テキスト　著書名　日本アロマコーディネータースクール　出版社　日本アロマコーディネータースクール

参考文献

・和田文緒著 「アロマテラピーの教科書」 新星出版社　・パトリシア・デービス著　「アロマテラピー事典」 フレグランスジャーナル社

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	香りと心身の関係／アロマセラピー概論	関連：日常生活の中に存在する香りとその役割を考える
第2回	精油の香りを知る	事後：授業時の心身コンディションと香りの好みの関連について考察し、レポートする
第3回	精油の扱い方を知る／バスソルト作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第4回	精油の抽出部位と抽出方法	事後：抽出部位と精油名を覚え、好みの香りに共通する作用を考える
第5回	果皮の精油／ボディーソープ作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第6回	基材について（その１）／小テスト	事前：精油の禁忌、抽出方法等について復習する
第7回	基材について（その２）	事後：キャリアオイルの役割と性質について復習する
第8回	ハンドトリートメント実習	事後：ハンドトリートメントを実施した感想や心身の変化の様子をレポートする
第9回	ブレンド比率と香りの相性／ローション作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第10回	花と葉の精油	事前：花と葉の精油に共通する作用を調べる
第11回	花の精油（その１）	事前：花の精油に共通する作用を調べる
第12回	花の精油（その２）／ヘアパック作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第13回	嗅覚と脳の関係	事前：学習内容について予習する
第14回	表情とメンタルコンディションの関係／フェイストリートメント実習	事後：作成クラフトについてレポートする
第15回	葉の精油／小テスト	事前：葉の精油に共通する作用を調べる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ホスピタリティ概論Ｉ		
講義コード	U208		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1.00	時間	15.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	井戸　久子		

意義と目的

礼儀は道徳を、作法は応用を指します。美しい姿と動きを身に付け、生かす知識を学びます。

到達目標

魅力ある人柄、親しみと安らぎを与えることが出来る。

方法

何時も丁寧にするのが作法に叶う訳ではありません。真行草（儀式、丁寧、普及）を使い分ける様指導します。

評価方法

期末試験　８０％　レポート提出　１５％　授業態度　５％

留意事項

①教室の上庵、下庵を確認して庵ること。　②机上に私物を置かない。　③私語は慎む。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

青春出版社発行の「日本人のしきたり」が大変良い内容ですので参考にしています。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	基本　文礼　挨拶（自己紹介）	0
第2回	訪問　予約、手土産の準備	0
第3回	贈答　贈り方の方法　贈る際のご挨拶	風呂敷持参
第4回	慶事　一生の祝い事について	祝儀扇持参
第5回	弔事　宗派に依る「おまつり」	念珠持参
第6回	食事　和洋食の器の扱い	ナプキン持参
第7回	飲物　器の正面の確認外	湯呑と茶椀持参
第8回	0	0

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	茶道概論及び実習Ⅱ		
講義コード	U251		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	神谷　昇司		

意義と目的

茶の湯文化を歴史、茶道具、茶室、露地茶事等に渡って学ぶことで生活文化としての茶道の意義を体得し、実習を通じて事後を修練し思いやりのある心を養う。

到達目標

裏千家許状　初級　薄茶（炉）点前を修得する。

方法

毎回の基礎（ことば、四則七則、制不道歌）読み合わせ、道、学、実、実習を通じて学ぶ。

評価方法

授業態度（50%）、レポート課題(20%)、小テスト(20%)、10分間基礎(10%)

留意事項

集中力、協調性を高める。

教科書

書名1 裏千家茶道 著書名　千　宗室　出版社　裏千家茶道教育センター 書名2　裏千家茶道教科　１、２、３　著書名　千　宗室　出版社　淡交社

参考文献

茶道文化検定テキスト　4級、3級

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	基本の確認　風炉点前の復習	暗唱　ことば　四則七則利休道歌
第2回	〃	風炉点前イメージトレーニング
第3回	裏千家について　風炉点前　小テスト	〃　季節の道具
第4回	薄茶まとめ　茶会形式　体験	〃　茶の歴史
第5回	亭主、客、水鹿の心構え	〃　茶室と露地
第6回	風炉　小テスト　炉について　口切茶事とは	〃　裏千家の茶室
第7回	炉　薄茶点前（１）	炉　薄茶　イメージトレーニング　位置の決定確認
第8回	炉　薄茶点前（２）	〃　茶道具について
第9回	炉　薄茶点前（３）	〃　八炉について
第10回	炉　薄茶点前（４）　道具拝見	〃　炉の位置
第11回	炉　薄茶点前（５）	〃　千利休について
第12回	炉　薄茶点前（６）　小テスト	炉　薄茶確認　掛物について
第13回	初茶会を開く　薄茶、濃茶、点心	初茶会の道具　正月飾り
第14回	まとめ　薄茶　濃茶　点前（１）	総合復習　利休かるた
第15回	まとめ　薄茶　濃茶　点前（２）　レポート	総合復習　レポート

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	華道概論Ⅰ		
講義コード	U252		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	金森　厚至		

意義と目的

日本の伝統文化の一つ、いけばなを通し日本の四季・自然・伝統の大切さ美しさを理解する。

到達目標

小原流いけばなの実習を中に基本的な構成法を覚え、毎回変わる花材の美しさ表情のとらえ方を身につける。

方法

毎回違う花材で基本花型のいけ方を学びながら、季節の花材の意味や伝統的な行事等について学びます。

評価方法

期末試験　30%　作品制作・授業態度　50%　中間試験　20%

留意事項

テキストに基本花型のいけ方説明がありますので、持ち帰った花材を自宅でいけ直す。

教科書

書名1 学校用いけばな教本 著書名　小原流研究院編　出版社 一般社団法人　小原流 書名2　　著書名　　出版社

参考文献

いけばなノート　小原流発行

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション　いけばな史 実技　花意匠　たてるかたち（基本）	授業でいけた花を持ち帰り自宅でいけ直す。
第2回	いけばな概論 〃　かたむけるかたち（基本、応用）	〃 次回の花型を教科書により理解
第3回	〃　かたむけるかたち（基本）	〃
第4回	〃（基本、応用）	〃
第5回	〃　ひらくかたち（正面性）	〃
第6回	〃　ひらくかたち（正面性）	〃
第7回	〃　ならぶかたち（正面性）	〃
第8回	〃　ならぶかたち（正面性）	〃
第9回	〃 実技　瓶花　直立型	〃
第10回	〃　直立型（逆勝手）	〃
第11回	〃　傾斜型	〃
第12回	〃　傾斜型（逆勝手）	〃
第13回	〃　観水型	〃
第14回	〃　観水型（逆勝手）	〃
第15回	デモンストレーション（クリスマス花）	授業でいけられなかったいけ方を見る 季節の行事にあわせたいけばな

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と美容Ⅱ		
講義コード	U253		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	５時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	岩田　美恵		

意義と目的

基本的なヘアメイク技術を身に付けた（前期）ので、テーマごとに知識、技術を学び感性を高め、応用力を身に付ける。

到達目標

将来あらゆるシーンに対応できるようにする。

方法

理論、デモンストレーション、映像などによって実技練習を行う。

評価方法

授業態度　40%
レポート課題　20%
テーマごとの作品　40%

留意事項

毎授業、ご自身のヘア、顔による実技授業の為、講師の指示に従ってください。
また、アレルギー等の場合は事前に相談ください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	ブライダル　洋装メイク	事前 最近のブライダルの傾向
第2回	ブライダル　洋装ヘア	〃
第3回	ブライダル　和装メイク①	事前 古典スタイルを調べる
第4回	ブライダル　和装メイク②	〃
第5回	ブライダル　和装ヘア	関連 日本髪を作る
第6回	ヘア　アレンジ	関連 アップスタイルの基本
第7回	舞台メイク①	関連 バレエメイク
第8回	舞台メイク②	関連 宝塚メイク
第9回	ファッション　ヘアメイク①	関連 つけまつ毛製作
第10回	〃	事前 製作したつけまつ毛に合わせたスタイル
第11回	〃	〃
第12回	ファッション　ヘアメイク②	事前 バリコレを見て
第13回	〃	〃
第14回	作品づくり	関連 撮影をする
第15回	作品づくり	関連 撮影をする

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	精神美学Ⅱ		
講義コード	U254		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	17U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	荒崎　香央里		

意義と目的

心の健康は身体の健康につながります。　心身の健康と魅力的な人格の形成に役立つアロマテラピーの専門的知識やスキルを学び、日常生活への応用を高めます。

到達目標

①日々の心身コンディションを客観的に観察し、アロマセラピーの手法を用いて心身の健康管理ができる。　②日本アロマコーディネーター協会認定資格に相応の知識を活用することができる。

方法

豊富な実習体験を通して、精油の有用性や心身の変化を感じていきます。教科書を使用した座学では理論的な理解を深めます。

評価方法

授業態度（40%）、小テスト（30%）、制作作品（15%）、レポート課題（15%）

留意事項

授業内容の理解を深めるために、自分自身の心と体の状態をよく観察して参加してください。体感を通して理解を深めるために作成したクラフトは必ず使用してください。

教科書

書名1 アロマコーディネーター講座レッスンテキスト 著書名　日本アロマコーディネーター協会　出版社　日本アロマコーディネーター協会 書名2　精油テキスト　著書名　日本アロマコーディネータースクール　出版社　日本アロマコーディネータースクール

参考文献

・和田文緒著 「アロマテラピーの教科書」 新星出版社　・パトリシア・デービス著　「アロマテラピー事典」 フレグランスジャーナル社

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	香りの心理作用／ルームフレグランス作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第2回	芳香植物とハーブ療法の歴史／ハンガリーウォーター作成	事後：授業内容を復習し、ポイントを暗記する
第3回	精油の化学成分（その１）	事前：精油の安全性について予習する、精油の禁忌を復習する
第4回	樹脂の精油／マウススプレー作成	事後：作成クラフトについてレポートする　樹脂の精油の共通作用をまとめる
第5回	精油の化学成分（その２）	事後：授業内容を復習し、ノートをまとめる
第6回	精油の化学成分（その３）	事後：精油の化学成分のポイントを復習する
第7回	アロマに役立つ身体のしくみ／フェイスパック作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第8回	アロマに役立つ身体のしくみ／クリーム作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第9回	木部の精油／歯磨きペースト作成	事後：作成クラフトについてレポートする　木部の精油についてまとめる
第10回	アロマに役立つ身体のしくみ	事前：オイルトリートメントの効果と禁忌について調べる
第11回	樹果と種子の精油	事後：樹果と種子の精油に共通する作用をまとめる
第12回	フレグランスの知識と作成	事前：作成するフレグランスのコンセプトを考える
第13回	アロマセラピーに関する法令	事後：法令のポイントをまとめる
第14回	模擬試験	事前：問題集を解く、精油テキストのポイントを暗記する
第15回	まとめ	事後：苦手分野の復習をして、資格試験に備える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ホスピタリティ概論Ⅱ		
講義コード	U255		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1.00	時間	15.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	吉岡　まり		

意義と目的

"自分の未来像"を描いてみましょう、そこから浮かぶ人とのコミュニケーション術、ホスピタリティ精神、おもてなしの心、礼儀作法とは何かを考えていきましょう。

到達目標

学生から社会人になることについての違いについて認識する。
そしてホスピタリティとは?
思いやりの心とは何か、見えない心を表現できる大切さを理解しましょう。

方法

毎回意見を述べ、語って、話して頂きます。

評価方法

期末試験　50%
授業への取り組み　50%

留意事項

意見交換など、ディスカッションスタイルを取り入れた講義を目指していますので、意欲的に授業に取り組んでください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	自己紹介、ホスピタリティーについて	この講義でどんなことを学んでいきたいか考えてきてください
第2回	自分の未来像を描いてみましょう そこから浮かぶコミュニケーションの流儀とは？	自分の3年後について考えながら、理想の（おもてなしの心を持つ）女性について考えてみましょう
第3回	言葉の使い方、訪問の心得	正しい言葉遣い、訪問する側、迎える側の心配りとは？
第4回	公衆マナー、外国でのマナー	身近におきるマナー違反、海外でのマナーの違い
第5回	食事の作法	和食洋食中華料理でのマナーについて
第6回	贈答の知識	心のこもったギフトとは？ 送るタイミング
第7回	プレゼン手ーション準備	発表にむけて作品完成 話し方、伝え方を考えてみましょう。
第8回	試験	0

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ホスピタリティ演習		
講義コード	U256		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	17U	自習時間	60
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	岩月　律子		

意義と目的

企業が求める人材である能力そのものを「エンプロイヤビリティ」といいます。「エンプロイヤビリティ」を確実に身につけ才能を発揮するチャンスを掴む、基礎能力を体得します。

到達目標

秘書検定資格取得を目指す中で、ビジネススキル、一般常識、マナー、就職面接対策等を徹底的にブラッシュアップし、自信を持って社会に出られる。

方法

テキストで学んでから、テーマごとに分析しまとめた過去問題のプリントを授業内で解き、各項ごとに知識の定着を図る。

評価方法

期末試験　５０％　、実技テスト４０％、授業態度１０％

留意事項

必ずテキストを持参し配布するプリント、過去問題の３点で平行して学習する心積りで受講していただくようお願いします。

教科書

書名1 秘書検定集中講義　２級 著書名　㈶　実務技能検定協会
出版社　早稲田教育出版 書名2　秘書検定　実問題集　２級
著書名　㈶　実務技能検定協会　出版社　早稲田教育出版

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション・秘書の資質・マナー （新しい上司・言葉遣い・敬語）	テキストと過去問題集の上手な使い方をマスター。予習より復習を必要とする。敬語の完全復習。
第2回	秘書の資質・マナー （後輩指導・経営の知識・言葉遣い・敬語）	秘書の資質、敬語の過去問題に取り組む。
第3回	秘書の資質 （信頼される仕事の仕方・経営の知識）	秘書の資質、経営の過去問題に取り組む。
第4回	職務知識 （上司不在・ビジネス用語）	秘書の資質の過去問題に取組み、ビジネス用語を覚える。
第5回	職務知識・マナー （上司出張・弔事）	職務知識、マナーの過去問題に取り組む。
第6回	職務知識・マナー （判断力・慶事）	職務知識、マナーの過去問題に取り組む。
第7回	職務知識・マナー （入院・もてなし・贈答）	職務知識、マナーの過去問題に取り組む。
第8回	職務知識・マナー （機密事項・会議）	職務知識、マナーの過去問題に取り組む。
第9回	職務知識・マナー （機密事項・会議）	職務知識、実技の過去問題に取り組む。
第10回	職務知識・実技 （転勤・栄転・郵便物）	職務知識、実技の過去問題に取り組む。
第11回	マナー （パイプ・気遣い）	マナーの過去問題に取り組む。
第12回	実技 （ｽｹｼﾞｭｰﾙ管理／資料管理・環境整備）	実技の過去問題に取り組む。
第13回	面接試験　実践トレーニング①	デモンストレーション練習。
第14回	面接試験　実践トレーニング②	デモンストレーション練習。
第15回	面接試験　実践トレーニング③	デモンストレーション練習。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活情報処理Ⅱ		
講義コード	U257		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	17U	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	冨永　将史		

意義と目的

今日の情報化社会で扱われる情報量は日々増加傾向にある。
文章作成や表計算、プレゼンテーション、ホームページ作成、
データベースなどの技術の習得と向上を行い、現代社会で必要な
情報処理の知識を養う。

到達目標

・文章作成や表計算、プレゼンテーション、ホームページ作成、
データベースなどを理解できる
・日本情報処理検定協会の検定２級以上の技能を持つことができる
・より高度な情報処理技術を身に着けることができる

方法

Microsoft Officeを用いて情報処理技術の基礎について学ぶ
技術のより深い内容についてテキストを基に学ぶ
演習を通してその活用方法を理解する

評価方法

実技試験　８０％
授業態度　１０％
検定試験合格　１０％

留意事項

実技演習を中心に行うため欠席しないこと。
積極的に復習を行うこと。
各回の内容は、個人の理解度や学習速度に応じて適宜変動します。

教科書

各自、希望の種類・級に応じたテキストを使用します
日本情報処理検定協会
・日本語ワープロ検定試験 模擬問題集 １・準１級編／２・準２級編
・情報処理技能検定試験 模擬問題集 表計算 １・準１級編／２・準２級編
・ホームページ作成検定試 験模擬問題集 １級編／２級編
・プレゼンテーション作成検定試験 模擬問題集 １・２級編

参考文献

日本情報処理検定協会 ワンポイント
https://www.goukaku.ne.jp/text_onepoint.html

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	授業の内容、情報処理技術の概要	事後：日本情報処理検定協会のＷｅｂサイトを確認する
第2回	模擬試験による適正確認	事前：情報処理技能検定試験ワンポイントを確認する
第3回	技術の確認	事前：情報処理技能検定試験ワンポイントを確認する
第4回	模擬問題演習①	事後：途中までの練習問題を完成させる
第5回	模擬問題演習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第6回	模擬問題演習③	事後：途中までの練習問題を完成させる
第7回	模擬問題演習④	事後：途中までの練習問題を完成させる
第8回	模擬問題演習⑤	事後：途中までの練習問題を完成させる
第9回	模擬問題演習⑥	事後：途中までの練習問題を完成させる
第10回	模擬問題演習⑦	事後：途中までの練習問題を完成させる
第11回	模擬問題演習⑧	事後：途中までの練習問題を完成させる
第12回	情報処理技能検定 検定試験 （他の講義との関係や、検定協会の定める実施期間により 実施回が前後することがあります）	事前：情報処理技能検定試験ワンポイントを確認する
第13回	総合演習①	事後：途中までの練習問題を完成させる
第14回	総合演習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第15回	結果の自己分析と対策	事後：結果を振り返り間違っていた箇所を再度確認する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ｉ		
講義コード	U301		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ⅱ		
講義コード	U302		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ｉ		
講義コード	U351		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ⅱ		
講義コード	U352		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科インターンシップⅠ		
講義コード	U353		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

修了後に目指す就職先や関連企業において研修し、社会における実務経験をすることにより、就職後の社会生活への適合性を養う。

到達目標

社会生活において不可欠である、自主性、判断力、協調性を身に付ける。

方法

企業において、実務研修を受ける

評価方法

研修態度　60%
レポート課題　40%

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	企業インターンシップ準備学習①	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第2回	企業インターンシップ準備学習②	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第3回	企業インターンシップ準備学習③	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第4回	企業インターンシップ準備学習④	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第5回	企業インターンシップ準備学習⑤	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第6回	企業インターンシップ	日報をつける。
第7回	企業インターンシップ	日報をつける。
第8回	企業インターンシップ	日報をつける。
第9回	企業インターンシップ	日報をつける。
第10回	企業インターンシップ	日報をつける。
第11回	企業インターンシップ	日報をつける。
第12回	企業インターンシップ	日報をつける。
第13回	企業インターンシップ	日報をつける。
第14回	企業インターンシップ	日報をつける。
第15回	企業インターンシップ	日報をつける。 企業で学んだことをレポートにまとめる。
第16回	企業インターンシップ	日報をつける。
第17回	企業インターンシップ	日報をつける。
第18回	企業インターンシップ	日報をつける。
第19回	企業インターンシップ	日報をつける。
第20回	企業インターンシップ	日報をつける。
第21回	企業インターンシップ	日報をつける。
第22回	企業インターンシップ	日報をつける。
第23回	企業インターンシップ	日報をつける。
第24回	企業インターンシップ	日報をつける。
第25回	企業インターンシップ	日報をつける。
第26回	企業インターンシップ	日報をつける。
第27回	企業インターンシップ	日報をつける。
第28回	企業インターンシップ	日報をつける。
第29回	企業インターンシップ	日報をつける。
第30回	企業インターンシップ	日報をつける。
第31回	企業インターンシップ	日報をつける。
第32回	企業インターンシップ	日報をつける。
第33回	企業インターンシップ	日報をつける。
第34回	企業インターンシップ	日報をつける。
第35回	企業インターンシップ	日報をつける。
第36回	企業インターンシップ	日報をつける。
第37回	企業インターンシップ	日報をつける。
第38回	企業インターンシップ	日報をつける。
第39回	企業インターンシップ	日報をつける。
第40回	企業インターンシップ	日報をつける。
第41回	インターンシップ内容報告とまとめ①	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第42回	インターンシップ内容報告とまとめ②	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第43回	インターンシップ内容報告とまとめ③	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第44回	インターンシップ内容報告とまとめ④	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第45回	インターンシップ内容報告とまとめ⑤	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科インターンシップⅡ		
講義コード	U354		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

修了後に目指す就職先や関連企業において研修し、社会における実務経験をすることにより、就職後の社会生活への適合性を養う。

到達目標

社会生活において不可欠である、自主性、判断力、協調性を身に付ける。

方法

企業において、実務研修を受ける

評価方法

研修態度60%
レポート課題　40%

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	企業インターンシップ準備学習①	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第2回	企業インターンシップ準備学習②	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第3回	企業インターンシップ準備学習③	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第4回	企業インターンシップ準備学習④	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第5回	企業インターンシップ準備学習⑤	日報をつける。
第6回	企業インターンシップ	日報をつける。
第7回	企業インターンシップ	日報をつける。
第8回	企業インターンシップ	日報をつける。
第9回	企業インターンシップ	日報をつける。
第10回	企業インターンシップ	日報をつける。
第11回	企業インターンシップ	日報をつける。
第12回	企業インターンシップ	日報をつける。
第13回	企業インターンシップ	日報をつける。
第14回	企業インターンシップ	日報をつける。
第15回	企業インターンシップ	日報をつける。 企業で学んだことをレポートにまとめる。
第16回	企業インターンシップ	日報をつける。
第17回	企業インターンシップ	日報をつける。
第18回	企業インターンシップ	日報をつける。
第19回	企業インターンシップ	日報をつける。
第20回	企業インターンシップ	日報をつける。
第21回	企業インターンシップ	日報をつける。
第22回	企業インターンシップ	日報をつける。
第23回	企業インターンシップ	日報をつける。
第24回	企業インターンシップ	日報をつける。
第25回	企業インターンシップ	日報をつける。
第26回	企業インターンシップ	日報をつける。
第27回	企業インターンシップ	日報をつける。
第28回	企業インターンシップ	日報をつける。
第29回	企業インターンシップ	日報をつける。
第30回	企業インターンシップ	日報をつける。
第31回	企業インターンシップ	日報をつける。
第32回	企業インターンシップ	日報をつける。
第33回	企業インターンシップ	日報をつける。
第34回	企業インターンシップ	日報をつける。
第35回	企業インターンシップ	日報をつける。
第36回	企業インターンシップ	日報をつける。
第37回	企業インターンシップ	日報をつける。
第38回	企業インターンシップ	日報をつける。
第39回	企業インターンシップ	日報をつける。
第40回	企業インターンシップ	日報をつける。
第41回	インターンシップ内容報告とまとめ①	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第42回	インターンシップ内容報告とまとめ②	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第43回	インターンシップ内容報告とまとめ③	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第44回	インターンシップ内容報告とまとめ④	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第45回	インターンシップ内容報告とまとめ⑤	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科特別研究Ｉ		
講義コード	U355		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

生活文化学の専門領域から主体的に研究課題等を選び、生活文化学科専門領域の指導教員に指導を受け、さらに高い専門知識、技術を極める。

到達目標

専門領域における資格取得、ショー、コンテストにおける成果獲得、専門領域の課題研究により、高度な専門知識、技術を習得し、感性を磨き創造力を養う。

方法

課題研究のテーマを決め、計画書をサック精する。ショー、コンテスト、イベントの企画実施に参加し、作品を制作発表する。制作発表や課題研究の過程、成果をレポートにまとめ、プレゼンテーションをする。

評価方法

授業態度　２０％
レポート、制作作品　４０％
プレゼンテーション　４０％

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	前期研究課題の決定と計画作成	【関連】研究課題に関係する情報を収集し、内容を整理する
第2回	前期研究課題の決定と計画作成	【関連】研究課題に関係する情報を収集し、内容を整理する
第3回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第4回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第5回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第6回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第7回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第8回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第9回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第10回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第11回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第12回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第13回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第14回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめる。
第15回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションする。
第16回	後期研究課題の決定と計画作成	【関連】研究課題に関係する情報を収集し、内容を整理する
第17回	後期研究課題の決定と計画作成	【関連】研究課題に関係する情報を収集し、内容を整理する
第18回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第19回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第20回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第21回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第22回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第23回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第24回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第25回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第26回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第27回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第28回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第29回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめる。
第30回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションする。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	海外異文化研修		
講義コード	U356		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	17U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　美智子		

意義と目的

異文化の理解

到達目標

異文化を理解し、自国を再確認する

方法

海外研修

評価方法

レポート提出

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と表現Ⅱ		
講義コード	U501		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16U	自習時間	30
選択必修区分	コース必修		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

日本及び海外のファッショントレンドをデザイン、色彩、素材などのコンテンツで分析し、自分らしくワードローブにコーディネートすることによって、服飾による自己表現力を高める。

到達目標

自分らしいスタイルを追求し、当該年のトレンドを生かした服飾コーディネートができる。

方法

視聴覚教材を活用することにより最新のファッショントレンドを学習する。自分の目指す職業やＴＰＯを想定したコーディネートをコラージュやデザイン画で表現する。

評価方法

レポート　２０％
中間・期末試験　４０％
プレゼンテーション　２０％
授業態度　２０％

留意事項

授業で学習したプリントや資料は最後にノートとして提出してもらいますので、必ずファイリングをしてください。

＜授業に準備する物＞
１９９a配色カード（日本色研事業株式会社）、Ａ４ファイル（ノート式）

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	前期授業内容とスケジュールの説明	【事後】授業に必要なものを準備する。
第2回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第3回	表現力を高めるエクササイズ①	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第4回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第5回	表現力を高めるエクササイズ②	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第6回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【関連】ファショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第7回	表現力を高めるエクササイズ③	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第8回	２０１７年春夏ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【関連】ファショントレンドのデザインの特徴について市場をリサーチする。
第9回	表現力を高めるエクササイズ④	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第10回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅰ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第11回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅱ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる
第12回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅲ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第13回	前期ワードローブコーディネートの実践Ⅳ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第14回	前期プレゼンテーションと総評	【事前】作製したコーディネートのコラージュについて発表の練習をする。
第15回	前期まとめ	【事前】学習したプリントがすべてそろっているか確認しファイリングする。
第16回	後記授業内容とスケジュールの説明	【事後】授業に必要なものを準備する。
第17回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第18回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ①	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第19回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「色彩」	【事後】ファショントレンドの色彩の特徴について市場をリサーチする。
第20回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ②	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第21回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【事前】ファショントレンドのデザイン、素材の特徴について市場をリサーチする。
第22回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ③	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第23回	２０１７年～１８秋冬ファッショントレンドとテーマ「デザイン」	【事前】ファショントレンドのデザイン、素材の特徴について市場をリサーチする。
第24回	プレゼンテーション力を高めるエクササイズ④	【関連】自分自身のワードローブの中から今季の色彩の特徴に合ったコーディネートができるアイテムを探す。
第25回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅰ	【関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第26回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅱ	【 関連】ファッションコーディネートの特徴を視聴覚教材や雑誌を参考にし取り入れる。
第27回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅲ	【関連】ファショントレンドの要素を自分自身のワードローブに生かしコーディネートする。
第28回	後期ワードローブコーディネートの実践Ⅳ	【関連】ファショントレンドの要素を自分自身のワードローブに生かしコーディネートする。
第29回	後期プレゼンテーションと総評	【事前】作製したコーディネートのコラージュについて発表の練習をする。
第30回	後期まとめ	【事前】学習したプリントがすべてそろっているか確認しファイリングする。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	健康美学Ⅱ		
講義コード	U502		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

基本の正しい姿勢・歩き方を学び、悪い癖を正し足、腰、肩に負担をかけないコツを覚える。【佐口】全身の筋肉を使って歩くメリットや心身への影響と効果を理解する【今井】

到達目標

鏡のないところでも美しい姿勢を保持し、様々な靴で美しい歩き方が出来る。【佐口】日常いつでもどこでも美しい姿勢と歩き方を意識して、エレガントな立居振舞ができる。【今井】

方法

テーマに合わせてウォーキングのレッスンを行う。

評価方法

実技テスト50%、実技小テスト20%、ノート提出10%、授業態度20%【佐口】実技テスト60% 、授業態度40%【今井】

留意事項

最初の歩き方からどれくらい上達したかが評価となります。美しくなろうという意識を高く持ってください。【佐口】
姿勢と歩き方が変わることが、イメージアップ、体型変化、健康に繋がることを理解し、意欲的に取り組んでください。美しくなることに興味を持ってください。きっと変わります。一緒に取り組んでいきましょう。【今井】

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	姿勢のチェック、正しい立ち方、動画収録	事前：全身を鏡に写し、自身の癖を見つける
第2回	ｳｫｰｷﾝｸﾞ動画確認、ストレッチ、基本ｳｫｰｷﾝｸﾞ	事後：基本の立ち方とｳｫｰｷﾝｸﾞの復習
第3回	悪い姿勢との見え方の違い・基本ｳｫｰｷﾝｸﾞ	事後：悪い姿勢・正しい姿勢の違いの復習 自身の癖を再確認
第4回	美しく歩く　～　正しい足の運びと手の振り方	事後：復習と歩幅の広げ方、手の引き方を 意識的に変える
第5回	美しく歩く～パンプスを履いて～	事後：パンプスを履いて歩く復習
第6回	美しい階段の上り下り	事後：階段の上り下りの復習
第7回	鏡のない所でｳｫｰｷﾝｸﾞ動画収録　1ランク上の洋服の着こなし	事後：毎日の洋服の脱ぎ着で確認
第8回	動画確認後、ｳｫｰｷﾝｸﾞ	事後：　復習
第9回	美しい姿勢と歩き方の基本を覚える、ビフォアーのビデオ撮り	事後：毎日姿勢のチェックをする癖をつける、美しく立つ
第10回	足と脚の使い方をマスターする、エクササイズで体軸をつくる、柔軟性をつくる、階段の昇り降り	事後：自分の身体の特徴と癖を把握して、日常生活でもできるように。
第11回	骨盤を立てる、デコルテを開く、腕を４５度後ろへ振る、バッグを美しく持つ	事後：日々の中で使い方を意識する
第12回	足、脚、手のエレガントな使い方を身に着ける、ひねりを意識する、上体を引き上げる、ターン＆ポージング	事後：身体を引き上げて歩き、美しいと見られるように
第13回	パンプスで歩くときの知識を身に着け、ポイント、効果を理解する、ヒールの選び方と知識、椅子の美しい座り方	事後：パンプスで歩いても揺れない軸のある身体
第14回	パンプスで美しくエレガントに歩く	事後：自分を表現してエレガントに歩く
第15回	実技テスト（姿勢、歩き方、立居振舞）＆アフタービデオ	事後：美しく歩ける、美しい立居振舞ができる
第16回	撮影会と創作ウォーキングでエレガントに楽しく歩く、変化した自分に拍手	事後：美しく見せることに興味が持てるようになる、自分の見せ方を考える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	国際コミュニケーション論Ⅱ		
講義コード	U503		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	David Wallace		

意義と目的

Aimed at beginners who want to achieve a modest level of functionality at a relaxed pace.

到達目標

Review basics of sentence structure and grammar.Expand vocabulary base.

方法

Lecture with questions/answer drills and pair practice.

評価方法

Class work 40% Homework 40% Test 30%

留意事項

Please bring a blank notebook, Dictionary recommended.

教科書

書名1 Breakthrough Plus Intro 著書名 Miles Craven 出版社 Macmillan 書名2 著書名 出版社

参考文献

0

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	Greetings Verb be - am/are	BP intro Unit One Greetings and introductions
第2回	Greetings Countries and nationalities	BP intro Unit One A short greeting
第3回	Personal information Affirmative and negative questions	BP intro Unit Two Exchanging personal information
第4回	Personal information Days and months	BP intro Unit Two Personal profiles
第5回	Friends and family Verb be is	BP intro Unit Three Talking about your family
第6回	Friends and family Wh - questions	BP2 Unit Three Family members
第7回	Review and consolidation quiz	BP intro Review 1 Unit 1-3
第8回	Possessions Singular and plural nouns	BP intro Unit Four Identifying personal possessions
第9回	Possessions This / These possessive	BP intro Unit Four Describing your favorite things
第10回	Interests Like + noun/verb	BP intro Unit Five Talking about things you like
第11回	Interests Everyday activities	BP2 Unit Five Talking about interests
第12回	Lifestyles Simple present	BP intro Unit Six Talking about your lifestyle
第13回	Lifestyles I/You/We/They	BP intro Unit Six Common verbs and adjectives
第14回	Review and consolidation	BP intro Review 2 Unit 4-6
第15回	Mid Term Exam	Homework deadline
第16回	Home There is / There are	BP intro Unit Seven Talking about where you live
第17回	Home Questions and short answers	BP intro Unit Seven Describing your home
第18回	Daily routines Simple present he/she	BP intro Unit Eight Talking about daily routines
第19回	Daily routines Yes/No Questions	BP inro Unit Eight Adverbs of frequency
第20回	Leisure Simple present Wh questions	BP intro Unit Nine Talking about things you do In your free time
第21回	Leisure Free time activities / hobbies	BP intro Unit Nine Invitations
第22回	Review and consolidation quiz	BP2 Review 3 Units 7-9
第23回	Sports Present continuous	BP intro Unit Ten Asking questions about different sports
第24回	Sports Simple present vs Present continuous	BP intro Unit Ten Talking about sports
第25回	Food Some/Any	BP intro Unit Eleven Making comparisons, expressing preference
第26回	Food Countable and uncountable nouns	BP intro Unit Eleven more, less, most, least, as as
第27回	Vacations Simple Present and present continuous	BP intro Unit Twelve Talking about vacation activities
第28回	Vacations Vacation activities/weather	BP intro Unit Twelve Telling a friend about your vacation
第29回	Review and consolidation	BP2 Review 4 Units 10-12
第30回	Final Exam	Units 1-12

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	家庭の料理		
講義コード	U504		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限	３時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16U	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

世界の特徴ある食文化について学び、代表的な料理と調理方法、技術を習得する。それらの料理を心からサービスできるおもてなしを身につける。

到達目標

世界の特色ある料理と調理方法、技術を習得し、その国の風土、食文化や食材の特徴を説明できる。おもてなしの心でサービスできる。

方法

デモストレーションは注意深く観察し、実習に積極的に参加し試食して理解を深める。

評価方法

レポート課題　50%
授業態度50%

留意事項

完成した料理の写真を毎回ノートに貼ってください。
ノートは授業の最後に提出してもらいます。

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	中国料理 基本と実践①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第2回	中国料理 基本と実践②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第3回	フランス料理 フランス料理の特色と基本を学ぶ	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第4回	フランス料理 オードブル、スープ、魚料理、肉料理、デザート	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第5回	製パン パン、焼き菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第6回	製パン パン、焼き菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第7回	スペイン料理 スペインの風土、歴史を含めて食の文化の特徴を紹介後、レシピに沿って調理し説明する	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第8回	スペイン料理 実習に移り、各班で分担を決め調理にかかる レシピ、時間を見ながら調理し試食する	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第9回	ブラジル料理 基本と実践①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第10回	ブラジル料理 基本と実践②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第11回	イタリア料理 基本と実践①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第12回	イタリア料理 基本と実践②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第13回	イタリア料理 基本と実践③	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第14回	イタリア料理 基本と実践④	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第15回	ワイン 酒類はいつどこで作られるようになったか、その分類	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第16回	ワイン テイスティングを実際試してみる	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第17回	ワイン ワインについて基礎知識を得る	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第18回	ワイン ワインの表現とマリアージュ、購入する際の選び方	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第19回	中国料理　アジアンチャイニーズ	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第20回	中国料理　アジアンチャイニーズ	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第21回	中国料理　薬膳料理	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第22回	中国料理　薬膳料理	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理
第23回	洋菓子　クリスマスのお菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　クリスマスのお菓子について調べましょう
第24回	洋菓子　クリスマスのお菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　クリスマスのお菓子について調べましょう
第25回	日本料理　おせち料理①	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第26回	日本料理　おせち料理②	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第27回	日本料理　おせち料理③	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第28回	日本料理　おせち料理④	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　おせち料理について調べましょう
第29回	洋菓子　チョコレート菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　チョコレートの種類について調べましょう
第30回	洋菓子　チョコレート菓子	事後　実習内容のまとめ、家庭での復習調理 事前　チョコレートの種類について調べましょう

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	世界の茶研究Ⅱ		
講義コード	U505		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

【中国茶】茶の源、基本から歴史、多種多様の茶葉の種類、淹れ方、文化を学ぶ。【紅茶】生活を豊かにする健康飲料「紅茶」を通じ、日本的もてなしの心と、英国の伝統文化を理解する。

到達目標

【中国茶】日常の茶を理解し、淹れ方、楽しみ方、おもてなし方法、マナーを習得する。【紅茶】紅茶を美味しく上手にいれるコツを身に付ける。現代的なティータイムを演出することができる。

方法

教科書を参照しながらの講義と、実際に紅茶をいれる実技。毎回、数種の紅茶とお茶請けの試飲試食。

評価方法

授業態度60%
授業中課題　30%
プレゼンテーション　10%

留意事項

実際に紅茶を味わうことが大切と考え、出席を最重視します。毎回エプロン持参のこと。

教科書

「紅茶を楽しむ」熊崎俊太郎　大泉書店

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	【紅茶】イントロダクション～紅茶の魅力（講義）	【事後】教科書の指摘部分を熟読。関連学習は講義中提示。
第2回	【紅茶】世界の紅茶を実際に味わう（講義・試飲）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第3回	【紅茶】「基本のいれ方」を身につける（実技・基本）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第4回	【紅茶】「上手ないれ方」を身につける（実技・応用）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第5回	【紅茶】カフェの紅茶メニューから学ぶ（実技・応用）	【事前】教科書の予告部分を熟読。関連学習は講義中提示。事後は自宅で復習し実食。
第6回	【紅茶】英国のアフタヌーンティー（実習）	【事前】教科書の予告部分を熟読。後日、ホームパーティー主催を。
第7回	【紅茶】おさらいのティーパーティー「七夕」（実習）	【事後】公開講座のまとめ
第8回	【紅茶】”　華麗なる紅茶の世界２０１７　”	【事後】日常の茶を見直し、生活の中での茶を考えます
第9回	【中国茶】茶文化の基礎知識。茶の起源と茶葉の基礎分類　茶と健康	【関連】中国からアジアには何故緑茶が根付いたのか
第10回	【中国茶】中国緑茶　日本茶　韓国茶の　製法の異なり、茶器の異なり、淹れかたの異なりを学びます	【事後】実習体験を復習
第11回	【中国茶】青茶（烏龍茶）　産地による加工製造の違い　茶葉、茶器の違い	【事後】実習体験を復習
第12回	【中国茶】中国紅茶　紅茶の歴史と種類　加工工程と茶とともに世界に広まった磁器	【関連】中国紅茶品茶
第13回	【中国茶】中国で人気　白茶　産地の限られた貴重なお茶を体験いたします	【関連】実習　白茶を温度を管理して入れる
第14回	【中国茶】黒茶（プーアール茶）青プーアール茶と熟プーアール茶の製造工程の違い　年代別に品茶（ティスティング）	【関連】黒茶の保存方法の確認
第15回	【中国茶】中国で人気　白茶　産地の限られた貴重なお茶を体験いたします	【関連】実習　オリジナルブレンドTeaを作ります

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	書道概論及び実習Ⅱ		
講義コード	U601		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	大島　一惠		

意義と目的

実用の文字が正しく美しく書ける事。

到達目標

鉛筆、毛筆の正しい持ち方及び、文字が書き順通り書けるようになる。

方法

上記の繰り返し（実用文字が自由に美しく書けるまで練習）

評価方法

出欠の有無　50%　最終時に決められた作品の提出　50%

留意事項

授業時間に遅刻・欠席しないこと。（欠席が多いと、筆の使い方、文字の書き順が理解出来なくなる為）

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	筆の正しい持ち方、墨の正しい摺り方	筆・視・墨　持参のこと
第2回	毛筆で墨を筆に含ませ線を書く	半紙持参（本体は授業ごとに配布）
第3回	毛筆でひらがな等文字を半紙に書く	〃
第4回	毛筆　２字、３字のひらがな続け書き練習	〃
第5回	ひらがば及び書体がなの練習（書体がなの説明）	〃
第6回	ひらがな書体・仮名の練習（２字・３字続け書き）	〃
第7回	〃	〃
第8回	〃	〃
第9回	実用文字（のし袋等の表書き）の練習（毛筆）	〃
第10回	俳句を毛筆で書く（半紙）	〃
第11回	〃	〃
第12回	和歌を半紙に書く	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	俳句及び和歌の半紙作品を清書提出	〃

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	茶道概論及び実習Ⅲ		
講義コード	U602		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	水曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	神谷　昇司		

意義と目的

茶の湯文化を歴史、茶道具、茶室、露地茶事等に渡って学ぶことで生活文化としての茶道の意義を体得し、実習を通じて事後を修練し思いやりのある心を養う。

到達目標

裏千家許状　初級　薄茶（炉）点前を修得する。

方法

毎回の基礎（ことば、四則七則、制不道歌）読み合わせ、道、学、実、実習を通じて学ぶ。

評価方法

授業態度（50%）、レポート課題(20%)、小テスト(20%)、10分間基礎(10%)

留意事項

集中力、協調性を高める。

教科書

書名1 裏千家茶道 著書名　千　宗室　出版社　裏千家茶道教育センター 書名2　裏千家茶道教科　１、２、３　著書名　千　宗室　出版社　淡交社

参考文献

茶道文化検定テキスト　4級、3級

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	風炉点前の復習	暗唱　ことば　四則七則利休道歌
第2回	〃　薄茶　濃茶	裏千家歴代確認
第3回	〃　裏千家歴代	薄茶道具の確認　四方さばき復習
第4回	小テスト　茶会形式　体験	茶会道具の取合せ
第5回	風炉について　濃茶　割稽古（１）	点前のイメージトレーニング
第6回	〃（２）	風炉、炉との比較
第7回	小テスト　薄茶点前　（１）	八炉について　位置の決定
第8回	小テスト　薄茶点前　（２）	薄茶点前のイメージトレーニング
第9回	小テスト　薄茶点前　（３）	〃　千利休について
第10回	小テスト　薄茶点前　（４）	〃　茶掛物
第11回	小テスト　薄茶点前　（５）	〃　釜　水指について
第12回	小テスト　薄茶点前　（６）	〃　茶会準備
第13回	まとめ　初風炉茶亭　濃茶　薄茶　点心について	初風炉　茶事について　初風炉の茶道具
第14回	まとめ　利休かるた　薄茶　濃茶　点前（１）	総合復習　利休かるた
第15回	〃　レポート　（２）	総合復習　レポート

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	薫風流煎茶道Ⅱ		
講義コード	U603		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	加藤　靖子		

意義と目的

煎茶道の手前にはお茶を美味しく淹れるための順序と手間が組み込まれています。
季節感を重んじる日本の情緒を感じながら丁寧な所作でお茶を淹れることを学ぶ。

到達目標

煎茶道具の名称や役割を理解し使いこなす。　和室での所作をきれいに見せることができ、
手前も美しく見えるように配慮する。　煎茶道の理解を深める。

方法

準備、ご挨拶から始まり、手前の作法、客側の作法、後片付を繰り返すことで美しい所作と道具の扱いに慣れる。
テキスト、プリントを活用し、知識を深める。

評価方法

レポート課題　50%
その他提出物　30%
授業態度　20%

留意事項

実習が中心の授業になります。
わからないことはその場で挙手し質問してください。
忘れないうちにノートに書いておきましょう。

教科書

書名1 煎茶道のすすめ 著書名　全日本煎茶道連盟　編　出版社
書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	和室での美しい所作	事後：道具の名前などを復習する
第2回	水屋の仕事	事後：テキストとプリントを熟読する
第3回	煎茶手前（一煎出し）	関連：テキストとプリントを熟読する
第4回	煎茶手前（二煎出し）	関連：テキストとプリントを熟読する
第5回	新茶手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第6回	新茶の蓋付茶碗手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第7回	玉露手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第8回	玉露の碗茶茶碗手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第9回	丸盆の手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第10回	茶びつの手前	関連：テキストとプリントを熟読する
第11回	玉露の水手前	関連：レポートの作成
第12回	玉露の水手前	関連：レポートの作成
第13回	夏のほうじ茶手前	関連：プリントを熟読する
第14回	夏の碗茶手前	関連：プリントを熟読する
第15回	好きなお茶を淹れましょう	事前：質問事項を書きだす

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	香道の心得Ⅱ		
講義コード	U604		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	石川　陽子		

意義と目的

人間形成を図る情操教育の一分野である香道によって心を癒し日本的な美を見出す

到達目標

見えないものに対する美意識に触れ感性を高めていく。香席での礼儀・作法を身につける。

方法

実技・聞香

評価方法

授業態度　70%　　レポート30%

留意事項

香水など香りの強いものはつけてこないでください。授業中は指輪・ブレスレット等は外してください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	香道の歴史・六国五味・子の日香　聞香	
第2回	梅煙香　聞香	
第3回	桃の月香　聞香	
第4回	山桜香　聞香	
第5回	卯の花香　聞香	
第6回	八橋香　聞香	
第7回	雲晴間香　聞香	
第8回	山路香　聞香	
第9回	鵜飼香　聞香	
第10回	星合香　聞香	
第11回	白菊香　聞香	
第12回	紅葉香　聞香	
第13回	冬夜香　聞香	
第14回	十ちゅう香　聞香	
第15回	源氏香　聞香	

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活と芸術Ⅰ		
講義コード	U605		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	木曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	関　康博		

意義と目的

植物・花を通じての自己表現やプレゼンテーションなど色んな角度での生活にとり入れ方を考える。

到達目標

生命ある花をいつくしみ、個々の花の個性を見つけ表現・提案ができる。

方法

生花・ドライ・プリザードフラワーと色々な生花に関するアプローチで表現できるように指導する。

評価方法

レポート課題　６０点　授業態度　３０点　プレゼンテーション　１０点

留意事項

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	生花の花束（春）	花のスパイラル束ね方
第2回	生花のアレンジメント	オアシスや花の挿し方
第3回	フローラルアクセサリー作り	花を身に付ける時に考える事
第4回	盆栽・苔玉つくり	土の配合・育てるという事
第5回	プリザードフラワーのアレンジ	和イヤリングやテーピングなどの技術
第6回	生花の夏の花束	季節の花を考える
第7回	植物素材のコラージュ作り	ドライ素材を最後まで花を楽しむ
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	精神美学Ⅰ		
講義コード	U606		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	荒崎　香央里		

意義と目的

アロマテラピーの基礎理論と実践の学習を通して、日々のストレスケアと心身バランスの調整方法を身につけ、健康で美しい心身と情緒豊かな感性を養います。

到達目標

①人間と植物の関わりを考えることができる。　②日々変化する自分の心身コンディションを客観的に観察することができる。
③植物の香りに親しみ、日常生活に取り入れることができる。

方法

実践学習を豊富に用意し、精油の有用性や心身の変化を感じていきます。教科書を使用した座学では理論的な理解が深まるようにＴ寧に分かりやすく解説します。

評価方法

授業態度（40%）、小テスト（30%）、制作作品（15%）、レポート課題（15%）

留意事項

授業内容の理解を深めるために、自分自身の心と体の状態をよく観察して参加してください。

教科書

書名1 アロマコーディネーター講座レッスンテキスト 著書名　日本アロマコーディネーター協会　出版社　日本アロマコーディネーター協会 書名2　精油テキスト　著書名　日本アロマコーディネータースクール　出版社　日本アロマコーディネータースクール

参考文献

・和田文緒著 「アロマテラピーの教科書」 新星出版社　・パトリシア・デービス著　「アロマテラピー事典」 フレグランスジャーナル社

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	香りと心身の関係／アロマセラピー概論	関連：日常生活の中に存在する香りとその役割を考える
第2回	精油の香りを知る	事後：授業時の心身コンディションと香りの好みの関連について考察し、レポートする
第3回	精油の扱い方を知る／バスソルト作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第4回	精油の抽出部位と抽出方法	事後：抽出部位と精油名を覚え、好みの香りに共通する作用を考える
第5回	果皮の精油／ボディーソープ作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第6回	基材について（その１）／小テスト	事前：精油の禁忌、抽出方法等について復習する
第7回	基材について（その２）	事後：キャリアオイルの役割と性質について復習する
第8回	ハンドトリートメント実習	事後：ハンドトリートメントを実施した感想や心身の変化の様子をレポートする
第9回	ブレンド比率と香りの相性／ローション作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第10回	花と葉の精油	事前：花と葉の精油に共通する作用を調べる
第11回	花の精油（その１）	事前：花の精油に共通する作用を調べる
第12回	花の精油（その２）／ヘアパック作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第13回	嗅覚と脳の関係	事前：学習内容について予習する
第14回	表情とメンタルコンディションの関係／フェイストリートメント実習	事後：作成クラフトについてレポートする
第15回	葉の精油／小テスト	事前：葉の精油に共通する作用を調べる

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ホスピタリティ概論Ⅲ		
講義コード	U607		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1.00	時間	15.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16U	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	井戸　久子		

意義と目的

礼儀は道徳を、作法は応用を指します。美しい姿と動きを身に付け、生かす知識を学びます。

到達目標

魅力ある人柄、親しみと安らぎを与えることが出来る。

方法

何時も丁寧にするのが作法に叶う訳ではありません。真行草（儀式、丁寧、普及）を使い分ける様指導します。

評価方法

期末試験　８０％　レポート提出　１５％　授業態度　５％

留意事項

①教室の上庵、下庵を確認して庵ること。　②机上に私物を置かない。　③私語は慎む。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

青春出版社発行の「日本人のしきたり」が大変良い内容ですので参考にしています。

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	基本　文礼　挨拶（自己紹介）	0
第2回	訪問　予約、手土産の準備	0
第3回	贈答　贈り方の方法　贈る際のご挨拶	風呂敷持参
第4回	慶事　一生の祝い事について	祝儀扇持参
第5回	弔事　宗派に依る「おまつり」	念珠持参
第6回	食事　和洋食の器の扱い	ナプキン持参
第7回	飲物　器の正面の確認外	湯呑と茶椀持参
第8回	0	0

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	茶道概論及び実習Ⅳ		
講義コード	U651		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	２時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	神谷　昇司		

意義と目的

茶の湯文化を歴史、茶道具、茶室、露地茶事等に渡って学ぶことで生活文化としての茶道の意義を体得し、実習を通じて事後を修練し思いやりのある心を養う。

到達目標

裏千家許状　初級　薄茶（炉）点前を修得する。

方法

毎回の基礎（ことば、四則七則、制不道歌）読み合わせ、道、学、実、実習を通じて学ぶ。

評価方法

授業態度（50%）、レポート課題(20%)、小テスト(20%)、10分間基礎(10%)

留意事項

集中力、協調性を高める。

教科書

書名1 裏千家茶道 著書名　千　宗室　出版社　裏千家茶道教育センター 書名2　裏千家茶道教科　１、２、３　著書名　千　宗室　出版社　淡交社

参考文献

茶道文化検定テキスト　4級、3級

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	風炉点前の復習	暗唱　ことば　四則七則利休道歌
第2回	〃　薄茶　濃茶	濃茶道具確認　四方さばき復習
第3回	裏千家について　薄茶　濃茶　点前	裏千家について
第4回	小テスト　茶会形式　体験	裏千家歴代を覚える
第5回	炉について　開炉、口切り	炉点前位置歩き方
第6回	炉　濃茶点前　割稽古（１）	炉、薄茶、濃茶の比較
第7回	〃　（２）	〃
第8回	〃　（３）	裏千家の茶室
第9回	〃　拝見物扱い（１）	茶室の構造
第10回	〃　拝見物扱い（２）	床の間　拝見掛物
第11回	〃　拝見付稽古（１）	道具の拝見
第12回	〃　（２）　小テスト	炉　点前の確認　掛物　花入れ
第13回	初茶会を開く　濃茶　薄茶　点心	初茶会の道具　正月飾り
第14回	まとめ　利休かるた　薄茶　濃茶　点前（１）	総合復習　利休かるた
第15回	〃　レポート　（２）	総合復習　レポート

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	華道概論Ⅱ		
講義コード	U652		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	４時限	代表曜日	月曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	金森　厚至		

意義と目的

一年で習得した小原流いけばなの基本をふまえ、より高度な表現や花材の変化に対応していけられるようにする。

到達目標

実枝（いけ方）と共に花材の意味や季節の行事、伝統的な習慣等を身につける。

方法

毎回異なる花材で実技を中心にして基本から応用へと習得していく。

評価方法

期末試験　30%　作品制作・授業態度　50%　中間試験　20%

留意事項

基本を大切にしながら応用へと展開していける応用力を身につける。いけた花を生活空間に飾る。

教科書

書名1 学校用いけばな教本（1年時使用のもの）　著書名　小原流研究院編　出版社　一般社団法人　小原流 書名2　　著書名　出版社

参考文献

いけばなノート　小原流発行（1年時使用）

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	オリエンテーション　いけばな史 実技　花意匠　たてるかたち	授業でいけた花を持ち帰り自宅でいけ直す。
第2回	いけばな概論 〃　かたむけるかたち	〃 次回の花型を教科書により理解
第3回	〃　ひらくかたち	〃
第4回	〃　ならぶかたち	〃
第5回	〃 実板　盛花　直立型	〃
第6回	〃　直立型・傾斜型	〃
第7回	〃　傾斜型・観水型	〃
第8回	〃　観水型	〃
第9回	〃 実枝　瓶花　傾斜型	〃
第10回	〃　直立型	〃
第11回	〃　　花材により 実枝（花衣装、盛花、瓶花より選択）	〃
第12回	〃	〃
第13回	〃	〃
第14回	〃	〃
第15回	デモンストレーション（クリスマス花）	授業でいけられなかったいけ方を見る 季節の行事のいけばな

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	精神美学Ⅱ		
講義コード	U653		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義・実習
基準単位数	1.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	金曜日
学年・クラス	16U	自習時間	15
選択必修区分	選択		
代表担当教員	荒崎　香央里		

意義と目的

心の健康は身体の健康につながります。　心身の健康と魅力的な人格の形成に役立つアロマテラピーの専門的知識やスキルを学び、日常生活への応用を高めます。

到達目標

①日々の心身コンディションを客観的に観察し、アロマセラピーの手法を用いて心身の健康管理ができる。　②日本アロマコーディネーター協会認定資格に相応の知識を活用することができる。

方法

豊富な実習体験を通して、精油の有用性や心身の変化を感じていきます。教科書を使用した座学では理論的な理解を深めます。

評価方法

授業態度（40%）、小テスト（30%）、制作作品（15%）、レポート課題（15%）

留意事項

授業内容の理解を深めるために、自分自身の心と体の状態をよく観察して参加してください。体感を通して理解を深めるために作成したクラフトは必ず使用してください。

教科書

書名1 アロマコーディネーター講座レッスンテキスト 著書名　日本アロマコーディネーター協会　出版社　日本アロマコーディネーター協会 書名2　精油テキスト　著書名　日本アロマコーディネータースクール　出版社　日本アロマコーディネータースクール

参考文献

・和田文緒著 「アロマテラピーの教科書」 新星出版社　・パトリシア・デービス著　「アロマテラピー事典」 フレグランスジャーナル社

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	香りの心理作用／ルームフレグランス作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第2回	芳香植物とハーブ療法の歴史／ハンガリーウォーター作成	事後：授業内容を復習し、ポイントを暗記する
第3回	精油の化学成分（その１）	事前：精油の安全性について予習する、精油の禁忌を復習する
第4回	樹脂の精油／マウススプレー作成	事後：作成クラフトについてレポートする　樹脂の精油の共通作用をまとめる
第5回	精油の化学成分（その２）	事後：授業内容を復習し、ノートをまとめる
第6回	精油の化学成分（その３）	事後：精油の化学成分のポイントを復習する
第7回	アロマに役立つ身体のしくみ／フェイスパック作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第8回	アロマに役立つ身体のしくみ／クリーム作成	事後：作成クラフトについてレポートする
第9回	木部の精油／歯磨きペースト作成	事後：作成クラフトについてレポートする　木部の精油についてまとめる
第10回	アロマに役立つ身体のしくみ	事前：オイルトリートメントの効果と禁忌について調べる
第11回	樹果と種子の精油	事後：樹果と種子の精油に共通する作用をまとめる
第12回	フレグランスの知識と作成	事前：作成するフレグランスのコンセプトを考える
第13回	アロマセラピーに関する法令	事後：法令のポイントをまとめる
第14回	模擬試験	事前：問題集を解く、精油テキストのポイントを暗記する
第15回	まとめ	事後：苦手分野の復習をして、資格試験に備える

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	ホスピタリティ概論Ⅳ		
講義コード	U654		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1.00	時間	15.00
代表時限	２時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16U	自習時間	30
選択必修区分	専攻必修		
代表担当教員	吉岡　まり		

意義と目的

"自分の未来像"を描いてみましょう、そこから浮かぶ人とのコミュニケーション術、ホスピタリティ精神、おもてなしの心、礼儀作法とは何かを考えていきましょう。

到達目標

学生から社会人になることについての違いについて認識する。
そしてホスピタリティとは?
思いやりの心とは何か、見えない心を表現できる大切さを理解しましょう。

方法

毎回意見を述べ、語って、話して頂きます。

評価方法

期末試験　50%
授業への取り組み　50%

留意事項

意見交換など、ディスカッションスタイルを取り入れた講義を目指していますので、意欲的に授業に取り組んでください。

教科書

書名1　著書名　　出版社　　書名2　　著書名　　出版社

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	自己紹介、ホスピタリティーについて	この講義でどんなことを学んでいきたいか考えてきてください
第2回	自分の未来像を描いてみましょう そこから浮かぶコミュニケーションの流儀とは？	自分の3年後について考えながら、理想の（おもてなしの心を持つ）女性について考えてみましょう
第3回	言葉の使い方、訪問の心得	正しい言葉遣い、訪問する側、迎える側の心配りとは？
第4回	公衆マナー、外国でのマナー	身近におきるマナー違反、海外でのマナーの違い
第5回	食事の作法	和食洋食中華料理でのマナーについて
第6回	贈答の知識	心のこもったギフトとは？ 送るタイミング
第7回	プレゼン手ーション準備	発表にむけて作品完成 話し方、伝え方を考えてみましょう。
第8回	試験	0

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	生活情報処理Ⅱ		
講義コード	U655		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	30.00
代表時限	３時限	代表曜日	火曜日
学年・クラス	16U	自習時間	60
選択必修区分	選択		
代表担当教員	冨永　将史		

意義と目的

今日の情報化社会で扱われる情報量は日々増加傾向にある。
文章作成や表計算、プレゼンテーション、ホームページ作成、
データベースなどの技術の習得と向上を行い、現代社会で必要な
情報処理の知識を養う。

到達目標

・文章作成や表計算、プレゼンテーション、ホームページ作成、
データベースなどを理解できる
・日本情報処理検定協会の検定２級以上の技能を持つことができる
・より高度な情報処理技術を身に着けることができる

方法

Microsoft Officeを用いて情報処理技術の基礎について学ぶ
技術のより深い内容についてテキストを基に学ぶ
演習を通してその活用方法を理解する

評価方法

実技試験　８０％
授業態度　１０％
検定試験合格　１０％

留意事項

実技演習を中心に行うため欠席しないこと。
積極的に復習を行うこと。
各回の内容は、個人の理解度や学習速度に応じて適宜変動します。

教科書

各自、希望の種類・級に応じたテキストを使用します
日本情報処理検定協会
・日本語ワープロ検定試験 模擬問題集 １・準１級編／２・準２級編
・情報処理技能検定試験 模擬問題集 表計算 １・準１級編／２・準２級編
・ホームページ作成検定試 験模擬問題集 １級編／２級編
・プレゼンテーション作成検定試験 模擬問題集 １・２級編

参考文献

日本情報処理検定協会 ワンポイント
https://www.goukaku.ne.jp/text_onepoint.html

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	授業の内容、情報処理技術の概要	事後：日本情報処理検定協会のＷｅｂサイトを確認する
第2回	模擬試験による適正確認	事前：情報処理技能検定試験ワンポイントを確認する
第3回	技術の確認	事前：情報処理技能検定試験ワンポイントを確認する
第4回	模擬問題演習①	事後：途中までの練習問題を完成させる
第5回	模擬問題演習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第6回	模擬問題演習③	事後：途中までの練習問題を完成させる
第7回	模擬問題演習④	事後：途中までの練習問題を完成させる
第8回	模擬問題演習⑤	事後：途中までの練習問題を完成させる
第9回	模擬問題演習⑥	事後：途中までの練習問題を完成させる
第10回	模擬問題演習⑦	事後：途中までの練習問題を完成させる
第11回	模擬問題演習⑧	事後：途中までの練習問題を完成させる
第12回	情報処理技能検定 検定試験 （他の講義との関係や、検定協会の定める実施期間により 実施回が前後することがあります）	事前：情報処理技能検定試験ワンポイントを確認する
第13回	総合演習①	事後：途中までの練習問題を完成させる
第14回	総合演習②	事後：途中までの練習問題を完成させる
第15回	結果の自己分析と対策	事後：結果を振り返り間違っていた箇所を再度確認する

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ｉ		
講義コード	U701		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ⅱ		
講義コード	U702		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	前期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ｉ		
講義コード	U751		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科技能検定Ⅱ		
講義コード	U752		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	コース主任		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科インターンシップⅠ		
講義コード	U753		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

修了後に目指す就職先や関連企業において研修し、社会における実務経験をすることにより、就職後の社会生活への適合性を養う。

到達目標

社会生活において不可欠である、自主性、判断力、協調性を身に付ける。

方法

企業において、実務研修を受ける

評価方法

研修態度　60%
レポート課題　40%

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	企業インターンシップ準備学習①	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第2回	企業インターンシップ準備学習②	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第3回	企業インターンシップ準備学習③	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第4回	企業インターンシップ準備学習④	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第5回	企業インターンシップ準備学習⑤	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第6回	企業インターンシップ	日報をつける。
第7回	企業インターンシップ	日報をつける。
第8回	企業インターンシップ	日報をつける。
第9回	企業インターンシップ	日報をつける。
第10回	企業インターンシップ	日報をつける。
第11回	企業インターンシップ	日報をつける。
第12回	企業インターンシップ	日報をつける。
第13回	企業インターンシップ	日報をつける。
第14回	企業インターンシップ	日報をつける。
第15回	企業インターンシップ	日報をつける。 企業で学んだことをレポートにまとめる。
第16回	企業インターンシップ	日報をつける。
第17回	企業インターンシップ	日報をつける。
第18回	企業インターンシップ	日報をつける。
第19回	企業インターンシップ	日報をつける。
第20回	企業インターンシップ	日報をつける。
第21回	企業インターンシップ	日報をつける。
第22回	企業インターンシップ	日報をつける。
第23回	企業インターンシップ	日報をつける。
第24回	企業インターンシップ	日報をつける。
第25回	企業インターンシップ	日報をつける。
第26回	企業インターンシップ	日報をつける。
第27回	企業インターンシップ	日報をつける。
第28回	企業インターンシップ	日報をつける。
第29回	企業インターンシップ	日報をつける。
第30回	企業インターンシップ	日報をつける。
第31回	企業インターンシップ	日報をつける。
第32回	企業インターンシップ	日報をつける。
第33回	企業インターンシップ	日報をつける。
第34回	企業インターンシップ	日報をつける。
第35回	企業インターンシップ	日報をつける。
第36回	企業インターンシップ	日報をつける。
第37回	企業インターンシップ	日報をつける。
第38回	企業インターンシップ	日報をつける。
第39回	企業インターンシップ	日報をつける。
第40回	企業インターンシップ	日報をつける。
第41回	インターンシップ内容報告とまとめ①	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第42回	インターンシップ内容報告とまとめ②	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第43回	インターンシップ内容報告とまとめ③	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第44回	インターンシップ内容報告とまとめ④	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第45回	インターンシップ内容報告とまとめ⑤	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科インターンシップⅡ		
講義コード	U754		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	2.00	時間	90.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	0
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

修了後に目指す就職先や関連企業において研修し、社会における実務経験をすることにより、就職後の社会生活への適合性を養う。

到達目標

社会生活において不可欠である、自主性、判断力、協調性を身に付ける。

方法

企業において、実務研修を受ける

評価方法

研修態度　60%
レポート課題　40%

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	企業インターンシップ準備学習①	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第2回	企業インターンシップ準備学習②	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第3回	企業インターンシップ準備学習③	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第4回	企業インターンシップ準備学習④	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第5回	企業インターンシップ準備学習⑤	インターンシップ企業の概要の把握する。ビジネスマナーの復習をし、研修に備える。
第6回	企業インターンシップ	日報をつける。
第7回	企業インターンシップ	日報をつける。
第8回	企業インターンシップ	日報をつける。
第9回	企業インターンシップ	日報をつける。
第10回	企業インターンシップ	日報をつける。
第11回	企業インターンシップ	日報をつける。
第12回	企業インターンシップ	日報をつける。
第13回	企業インターンシップ	日報をつける。
第14回	企業インターンシップ	日報をつける。
第15回	企業インターンシップ	日報をつける。 企業で学んだことをレポートにまとめる。
第16回	企業インターンシップ	日報をつける。
第17回	企業インターンシップ	日報をつける。
第18回	企業インターンシップ	日報をつける。
第19回	企業インターンシップ	日報をつける。
第20回	企業インターンシップ	日報をつける。
第21回	企業インターンシップ	日報をつける。
第22回	企業インターンシップ	日報をつける。
第23回	企業インターンシップ	日報をつける。
第24回	企業インターンシップ	日報をつける。
第25回	企業インターンシップ	日報をつける。
第26回	企業インターンシップ	日報をつける。
第27回	企業インターンシップ	日報をつける。
第28回	企業インターンシップ	日報をつける。
第29回	企業インターンシップ	日報をつける。
第30回	企業インターンシップ	日報をつける。
第31回	企業インターンシップ	日報をつける。
第32回	企業インターンシップ	日報をつける。
第33回	企業インターンシップ	日報をつける。
第34回	企業インターンシップ	日報をつける。
第35回	企業インターンシップ	日報をつける。
第36回	企業インターンシップ	日報をつける。
第37回	企業インターンシップ	日報をつける。
第38回	企業インターンシップ	日報をつける。
第39回	企業インターンシップ	日報をつける。
第40回	企業インターンシップ	日報をつける。
第41回	インターンシップ内容報告とまとめ①	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第42回	インターンシップ内容報告とまとめ②	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第43回	インターンシップ内容報告とまとめ③	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第44回	インターンシップ内容報告とまとめ④	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。
第45回	インターンシップ内容報告とまとめ⑤	今まで書いた日報から反省点、と成果をまとめる。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	専攻科特別研究Ⅱ		
講義コード	U755		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	60.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	30
選択必修区分	選択		
代表担当教員	羽根　裕子		

意義と目的

生活文化学の専門領域から主体的に研究課題等を選び、生活文化学科専門領域の指導教員に指導を受け、さらに高い専門知識、技術を極める。

到達目標

専門領域における資格取得、ショー、コンテストにおける成果獲得、専門領域の課題研究により、高度な専門知識、技術を習得し、感性を磨き創造力を養う。

方法

課題研究のテーマを決め、計画書をサック精する。ショー、コンテスト、イベントの企画実施に参加し、作品を制作発表する。制作発表や課題研究の過程、成果をレポートにまとめ、プレゼンテーションをする。

評価方法

授業態度　２０％
レポート、制作作品　４０％
プレゼンテーション　４０％

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習
第1回	前期研究課題の決定と計画作成	【関連】研究課題に関係する情報を収集し、内容を整理する
第2回	前期研究課題の決定と計画作成	【関連】研究課題に関係する情報を収集し、内容を整理する
第3回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第4回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第5回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第6回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第7回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第8回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第9回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第10回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第11回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第12回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第13回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第14回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめる。
第15回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションする。
第16回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第17回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第18回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第19回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第20回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第21回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第22回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第23回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第24回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第25回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第26回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第27回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第28回	課題研究、ショー、コンテスト、イベント参加	【関連】研究内容の調査研究、考察を進める。ショー、コンテスト、イベントへの参加作品を作成する。
第29回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめる。
第30回	課題研究のまとめとプレゼンテーション	【関連】課題研究をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションする。

シラバス 名古屋文化短期大学 ＮＦＣＣ 2017

印刷日：2017年09月19日

講義名	海外異文化研修		
講義コード	U756		
開講責任部署	グレイセスコース		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2.00	時間	0.00
代表時限		代表曜日	
学年・クラス	16U	自習時間	
選択必修区分	選択		
代表担当教員	山田　美智子		

意義と目的

到達目標

方法

評価方法

留意事項

教科書

参考文献

授業計画表

回	テーマ	自習